

平町富豪一覽

五十圓以上の擔稅者

- 平町の戸數割賦課は目下委員會に於て審議中であるが町當局の原案に據る五十圓以上の擔稅者を行政區順に擧ぐれば左記の如くである
- 一五、八八〇 小野園次郎
 - 九五、六一〇 關内半平
 - 七一、四七〇 矢吹大輔
 - 五二、二九〇 端山正男
 - 八三七、一二〇 山崎與三郎
 - 一二四、一一〇 白井一郎
 - 七六、五〇〇 山崎恭平
 - 二二三、七〇〇 馬目玉彌
 - 五七、六二〇 市原源十
 - 七〇、一三〇 青天目源一郎
 - 六一、〇八〇 柳田榮太郎
 - 一一二、五六〇 草野顯平
 - 七五、八八〇 中野甲藏
 - 四一七、八九〇 吉田由三郎
 - 一〇九、八二〇 鈴木比佐子
 - 五〇、五四〇 國府田直良
 - 一二六、一六〇 酒井重雄
 - 九五、九四〇 難波睦
 - 六八、三四〇 近藤ムメ
 - 七〇、二六〇 酒井國三郎
 - 一一〇、七六〇 上田耕作
 - 八二、〇五〇 馬目徳三郎
 - 六三、四〇〇 山下庄一
 - 五〇、二九〇 織田安次郎
 - 一〇五、五〇〇 織田豊太郎
 - 一一二、八〇〇 岡田長太郎
 - 八五、五〇〇 山田文一郎
 - 五八、三六〇 河田梅吉
 - 五〇、八〇〇 若松信吾
 - 一五八、五〇〇 諸橋敬一郎
 - 五六、七六〇 馬目太郎
 - 一一八、九七〇 松本龜吉
 - 一四〇、八八〇 小原喜八
 - 八四、三八〇 渡邊貫一
 - 五三、八二〇 森下庄吉
 - 九〇、七一〇 坂本隆藏
 - 五〇、七〇〇 田口文平
 - 一一〇、〇三〇 鷹崎貞衛
 - 五二、一八〇 武田友吉
 - 八〇、四八〇 西脇庄次郎
 - 二一九、五六〇 明智淺吉
 - 一四一、三〇〇 谷口仁太郎
 - 七一、三二〇 三井常松
 - 一五一、三六〇 石川トヨ
 - 二二八、五七〇 關内正一
 - 八四、四〇〇 永山小平
 - 二二五、三〇〇 根本善吉
 - 五四、六九〇 白土四郎
 - 六二、九五〇 山崎勇治
 - 五六、六五〇 大林一郎
 - 七八、一〇〇 伊關房次
 - 三九三、七七〇 鈴木堅助
 - 一六七、六五〇 中野庄吉
 - 六二、一五〇 山崎孝之助
 - 一二五、三八〇 長瀬延太郎
 - 五八、一六〇 坂田藤助
 - 一四九、七三〇 大谷久藏
 - 六六、四五〇 三森慶次郎
 - 一〇九、一九〇 馬目勝次郎
 - 一四八、一一〇 佐々木喜代治
 - 一一一、八三〇 柏原幸次郎
 - 一〇五、九二〇 中野康平
 - 一〇三、七四〇 猪狩喜平
 - 一八〇、八二〇 大須賀善吉
 - 二五一、八〇〇 久保ヒサ
 - 一四七、一二〇 鈴木銀次郎
 - 九一、三三〇 小野伊佐治
 - 五九、九九〇 田名綱甲藏
 - 一一一、八一〇 梅原利三郎
 - 五一、〇五〇 江島直次
 - 一一〇、四五〇 草野喜一
 - 五六、七八〇 三井富吉
 - 一〇八、六四〇 小野常治
 - 一〇五、二八〇 松本愛三
 - 七六、七五〇 松崎佐平
 - 九七八、八九〇 百澤易興
 - 一一六、八七〇 阿部唯次郎
 - 一七七、九八〇 猪狩庄平
 - 一六四、八五〇 江尻淺之助
 - 四五〇、八一〇 平松武
 - 二、五三、四五〇 諸橋久太郎
 - 八三、九四〇 大竹芳之介
 - 七四、九四〇 酒井亥之次郎
 - 一二二、九二〇 松崎長三郎
 - 一七七、四一〇 諸橋國松
 - 五七、七五〇 中野勇吉
 - 一三五、四〇〇 松崎長太郎
 - 八七、九〇〇 木村寅次郎
 - 六五、七九〇 吉田定太郎
 - 九五、〇〇〇 葉谷エツ
 - 八五、二四〇 野木龜吉
 - 五二、三〇〇 根本品藏
 - 七三、九一〇 永倉清次郎
 - 五六、六二〇 根本房治
 - 五八、八八〇 齋藤繁藏
 - 一一八、五一〇 岡田千藏
 - 五八、二八〇 松永チツ
 - 七一、三〇〇 檜山謙
 - 六四、二〇〇 阿部兼吉
 - 六七、一四〇 長谷川スエ
 - 七〇、五〇〇 平野井子之松
 - 七一、〇四〇 小泉重藏
 - 一〇四、三〇〇 草野七五三之助
 - 一一一、四六〇 多田井笑次郎
 - 八三、二〇〇 五十嵐小平
 - 六四、一〇〇 武田ユウ
 - 一一九、五三〇 吉田禮次郎
 - 七四、九四〇 川又章二
 - 五四、〇三〇 石島一徳齋
 - 七七、二二〇 酒井清
 - 一一五、七四〇 丸山慶治
 - 一二二、六五〇 高久忠
 - 六〇、六三〇 神谷富五郎
 - 五四、六一〇 金子豊吉
 - 一二四、一六〇 金子重次
 - 六五、九八〇 三浦與五郎
 - 五二、八一〇 木村モン
 - 五〇、九〇〇 安藤金次
 - 一一八、四〇〇 阿部政右衛門
 - 七二、五九〇 新田目善次郎
 - 五九、〇八〇 前澤文太郎
 - 五〇、九六〇 長谷川浩太郎
 - 一九二、六二〇 江口忠一
 - 七一、九〇〇 色川勝三郎
 - 六五、四二〇 吉田金作
 - 一〇六、八八〇 永山和平
 - 六五六、〇五〇 酒井秀次郎
 - 五五、二〇〇 大河原金之助
 - 六一、九〇〇 鈴木實雄
 - 六一、九五〇 武田清次郎
 - 五五、五〇〇 千葉公賛
 - 六一、〇六〇 有賀幸太郎
 - 七七三、一四〇 堀江正直

季節料理

◇茄子の南蠻煮 茄子の皮をとって五分角の板にきり水につけておく 抜き置いた後 炭火で煮る



全部に對して猪狩署長から訓示あつた由にて

噂を云ひ放つた者三四名に就いて逆登りの取調べを行つたが何れも誰れから聞いたと云ふ確實な根拠がないので更らに祈禱者其他を内偵中である

平小學校の授業料滞納

全生徒の七割 平町第一、二兩小學校の高等科一二年授業料が甚だしく滞納してゐるので平町役

大竹記者入隊

大竹いはらき平支局長は四週間の現役の爲め本日前十時五分平驛發にて出發近衛第一聯隊に入隊した

職業紹介講習

内務省社會局で十八日から十日間開かれた職業紹介事業講習會に本縣からは左記の三氏が出席した

職業紹介講習

郡山第三校訓導菅野武尾 △石城郡大野校訓導佐藤 徹雄 △同郡内郷校教授 堀吉田賢吉

職業紹介講習

場では非常に手を焼いてゐる滞納兒童は全生徒の約七割三百三十名の多きに達してゐるが斯くの如く不成績なことは未だ曾てないこと

職業紹介講習

で役場の調査によると不景氣に藉口して僅か四五十錢の授業料を滞納してゐる向が可成り多いので學校當局並に保護者會と聯絡を取り滞納の整理をすることとなつた

職業紹介講習

の日は 東北の風 露空小雨

大火災が起ると

トテツもない流言

平町は最近相次いで火災が起つた爲めからか人心が火に對して非常な恐怖を抱いたものゝ如く近く又々大火災が起つて

平町は最近相次いで火災が起つた爲めからか人心が火に對して非常な恐怖を抱いたものゝ如く近く又々大火災が起つて

平町は最近相次いで火災が起つた爲めからか人心が火に對して非常な恐怖を抱いたものゝ如く近く又々大火災が起つて

平町は火の海と化す等とトテツもない流言蜚言が誠にやかに傳へられ夫れが祈禱者の云つた豫言であるとの事に或ひは悪祈禱者が自分の豫言の適中を圖つて放火をする様な事があつては大變と犬の噴吹等に

平町は最近相次いで火災が起つた爲めからか人心が火に對して非常な恐怖を抱いたものゝ如く近く又々大火災が起つて

平町は最近相次いで火災が起つた爲めからか人心が火に對して非常な恐怖を抱いたものゝ如く近く又々大火災が起つて

平町は最近相次いで火災が起つた爲めからか人心が火に對して非常な恐怖を抱いたものゝ如く近く又々大火災が起つて

片濱軌道

事務進捗せず

石城郡片濱軌道の工事施行期限は再三變更し本年六月三十日まで延期されてゐたが創立事務の不進捗により到底竣成せざりし縣は發起人總代大谷喜作氏に出縣を

老人を轢く

頻死の重傷

平町二丁目目子自動車部所有乗合自動車を運轉手菅野美見(一)が運轉し二十二日午後八時頃平町長橋町地内道路を疾走中運轉を誤り前方を通行中の長橋町賣藥商島崎巳之助(六)を轢倒し頭部その他に瀕死の重傷を負はせたので運轉手は平署に召喚取調べを受けたが被害者は上野病院に入院治療中

初夏なら

麥藁帽子に

象牙のバイブ 宵の散歩へ 細身のステッキ 專賣特許 「デリケート」麥帽子

涼!快!!美!!

ツルヤ

電話百四十番